

うつ
移そうとしていた!?



大内氏と山口市。



彩都山口13号

じょうえいじにわひつけん
常栄寺の庭は必見!

やまぐちしがせいよむろまちじだいすいぼくがかせつしゅうそ
山口市は、「画聖」と呼ばれた室町時代の水墨画家・雪舟が創
さくかつどうはげちなかとくしせっしゅう
作活動に励んだ地です。中でも特に知られる雪舟ゆかりのス
じょうえいじけいだいせっしゅうさくていつたにわ
ポットが「常栄寺」。境内には雪舟が作庭したと伝わる庭があ
むろまちじだいさいこうけっくくい
り、室町時代の最高傑作と言われています。作庭を依頼した
さいごくいちだいみょうおおうち
のは西国一の大名・大内
しせいきなかだい
氏。15世紀半ば、29代・
まさひろせっしゅうごえ
政弘が雪舟に声をかけた
つたと伝えられます。まるで水
ほくさんすいがうつく
墨山水画のような美しい
にわいっけんかち
庭は一見の価値あり。



常栄寺

さいせんたん
最先端のアートがある!



アートと山口市。



彩都山口15号

おさらいやまぐち

歴史と文化、最先端が
共存するまち、山口市。

彩都山口



ねんがつにちしんぶんし
2024年1月9日、アメリカの新聞紙
「ニューヨーク・タイムズ」が、
「2024に行くべき52カ所」を発表。
日本で唯一選ばれたのは、なんと山口市でした!
えら
選ばれた
理由はここから
いりう



おさらいやまぐち

歴史、文化、自然、アート…

みんなでおさらいやまぐちの魅力。



発行/2024年7月
山口市総合政策部企画課
〒753-8650 山口市亀山町2-1
TEL.083-934-2746
<https://www.city.yamaguchi.lg.jp/>

おうちよしだかきょうとやまぐちみやこ
大内義隆は京都から山口市へ都を

やまぐちむろまちじだいおうちしおこな
山口市のまちは、室町時代に大内氏が行ったまちづくりが基
い
礎になったと言われています。大内氏は地方政治だけでなく
はくふせいきょくがんよひがし
幕府の政局にもたびたび関与し、さらに東アジア諸国との交
えきさかおこなにしにほんゆりょくだいみょうじつたいよしたかに
易も盛んに行った西日本の有力大名。「実は16代・義隆が日
ほんみやこきょうとやまぐち
本の都を京都から山口へ
うつせんとけいかくね
移す遷都計画を練ってい
た」との説もあるほど勢
りよくほこるりこう
力を誇りました。「瑠璃光
じごじゅうのどうこうかけんらん
寺五重塔」は豪華絢爛な
おうちぶんかしうちようい
大内文化の象徴とも言え
ます。



1
瑠璃光寺五重塔

せつしゅうそくさくかつどうはげやまぐち
雪舟が創作活動に励んだ山口市。



雪舟と山口市。



彩都山口12号

おうちぶんかはなひらやまぐち
大内文化が花開いた山口市には

おうちしやまぐちきょうも
大内氏が山口市で京のまちを模したまちづくりを始めたの
ねんご
は1360年頃のこと。それ以降、歴代当主も同様にまちづく
てんかいきょうとできよそたいいくてきようそどくじようそ
りを開き、京都的要素、大陸的要素、独自の要素と3つの
ようそあわかもおうちぶんかはなら
要素を併せ持つ大内文化が花開きました。そんな山口市に
ねんほんだい
は、2003年、日本の代表的な現代アートの拠点
ひょうとうげんたいきよてん
「山口情報芸術センター(YCAM)」も誕生。
「アートのある風土」は
みやくみくうつ脈々と受け継がれています。



八 YCAM

おさらいやまぐち MAP



1 高さ8メートルの白ぎつね！

白ぎつねが温泉で傷を癒していたことから発見されたと伝わる湯田温泉。湯田温泉駅前の巨大白ぎつね像をはじめ、温泉街にはぎつね像が点在！



2 全国的にも珍しい「手湯」が楽しめる！

湯田温泉街には6つの足湯ほか、全国的にも珍しい「手湯」もある！湯田温泉観光案内所前と源泉が湧き出る様子を観察できる温泉舎では飲泉も。



3 当時は全国で唯一！伊勢から神靈を勧請。

大内義興が伊勢から神靈を勧請して創建した山口大神宮。当時、勧請を許されたのは全国でここだけ！室町時代における大内氏の隆盛が伺える。



4 維新の扉をノックしたのはここ！

幕末の1864年、毛利敬親が萩から山口へ藩庁を移転した際に建てられた「山口政事堂」の門。1870年に現在の地で再建された。県庁側の脇門は常時開かれ、今でも通り抜けができる。



5 大正時代に建てられた国の重要文化財！

旧県庁舎と旧県会議事堂は、西洋の近代的な建築様式と伝統的な建築洋式が融合した貴重な建物。空から見下すと旧県会議事堂は「山」、旧山口県庁は「口」の形に！



6 官軍の「錦の御旗」はここで作られた！

1868年の鳥羽伏見の戦いで官軍が掲げた「錦の御旗」は、品川弥二郎が京都西陣で材料を購入し、この地にあった養蚕所の一室で製作されたと伝わる。



7 山口を流れる「京都の鴨川」？

春は桜、初夏はホタルと四季折々の風物詩が堪能できる川。室町時代、京を模したまちづくりをした大内弘世が鴨川に見立てた川としても知られる。



8 「学都山口」はここからスタート！

長州藩士の上田鳳陽は、のちの山口明倫館となる山口講堂を創設。ここには山口明倫館の兵学寮があり、維新の十傑の一人、大村益次郎も指導。ちなみに山口講堂は山口大学の根源にある。



9 その昔、山口駅があった場所。

JR山口線が誕生する以前、山口市にはたった4年しか存在しなかった幻の鉄道が！かつて山口駅があったこの場所は、一の坂川交通交流広場に。



10 総理大臣などの揮毫がずらり！

1877年創業の料亭の建物を移築復元した観光文化交流施設。100畳もある大広間には伊藤博文や山県有朋など近代日本史にその名を刻む偉人たちの揮毫が並ぶ。



山口市に文化芸術施設が集結！

夢を育む土壤は整っているぞ！
山口市は文化芸術都市！

県立美術館、県立博物館、県立図書館、文書館、埋蔵文化財センターと、山口市には文化芸術施設が充実！しっかり利用すれば、研究者やアーティストへの道が拓けるかも…？



A B やまぐち 山口市にある 続日本100名城！大内氏館・高嶺城

室町時代から戦国時代にかけて、中国地方西部から北部九州を治めた守護大名・大内氏の居所であるとともに政治的拠点だった大内氏館と、その西方に位置する鴻ノ峰を利用した壮大な山城・高嶺城は、ともに国指定史跡・続日本100名城に！



A ごのみねじょあと 高嶺城跡

B おうちしゃかたあと 大内氏館跡